

事務事業名 高齢者配食サービス事業		所属部 健康福祉部	所属課 長寿障がい福祉課	
総合計画体系	政策名 (Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G 高齢者福祉G	課長名 糸原 幸子	
	施策名 (22) 高齢者福祉の充実	担当者名 武田 遼太	電話番号 0854-40-1042 (内線) 2153	
	目的: 対象 65歳以上の市民 意図 生きがいを持って、いきいきと暮らす。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 5 0 9 地域介護予防活動支援事業	中事業 中事業名 0 5 6 6 0 3 食の自立支援事業	
	基本事業名 (065) 地域ケア体制の充実			
目的: 対象 65歳以上の市民 意図 住み慣れた地域で安心して暮らす。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (18年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
調理が困難な高齢者及び栄養改善が必要な高齢者に対して、介護予防プラン又は居宅介護サービス計画に基づき、一人週5回の範囲で地域のボランティアによる食事の提供と安否確認を行い、在宅で自立した生活を送ることができるよう支援する。自己負担 360円/食(H29年度からは 540円/食)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・申請により、「ケア会議」により利用の可否を決定した。 ・雲南市社会福祉協議会(吉田町を除く地域)、よしだ福祉会(吉田町)へ委託し、バランスのとれた食事の提供と安否確認を実施した。 ・平成25年度から、三刀屋町全域及びモデル地区において地域自主組織での配食及び安否確認を実施し、地域における見守り活動の推進を図った。	29年度計画(29年度に計画する主な活動) ・事業の実施については、雲南市社会福祉協議会(吉田町を除く地域)、よしだ福祉会(吉田町)へ委託。 ・平成28年度に引き続き、三刀屋町全域及びモデル地区において地域自主組織での配食及び安否確認を実施し、地域における見守り活動の推進を図る。				
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 実利用人数	人	218	146	133	150
	イ 延食数	食	13,853	13,358	12,654	13,500
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	次のいずれかに該当する方であって、栄養改善の必要な方 ・高齢者の単身世帯 ・高齢者のみの世帯及び準ずる世帯 ・障がい者で自立支援及び栄養改善等の必要があると市長が認めた方		ア 65歳以上の独居高齢者数(4月1日現在)	人	2,011	2,131	2,274
	イ 高齢者のみ世帯の人数(4月1日現在)	人	3,556	3,718	3,831	3,993	
	ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
高齢者の食生活の改善 社会的孤立感の解消	ア 地域との交流があると感じる高齢者の割合	%	67.4	72.6	71.5	71.5	
	イ 生きがいを感じている高齢者の割合	%	70.9	77.8	66.1	66.1	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
委託料 16,003千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円	14,897	14,601	14,105
	一般財源	千円	2,435	2,142	1,898	
	事業費計(A)	千円	17,332	16,743	16,003	17,388
人件費	正規職員従事人数	人	4	3	6	
	延べ業務時間	時間	489	231	348	
	人件費計(B)	千円	1,901	904	1,381	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	19,233	17,647	17,384	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
高齢者及び高齢者のみの世帯は増加しているも、病態像の多様化等により必要とされる食事の内容も多様化している。	・配食の回数の統一を行った。 ・三刀屋町全域及びモデル地区において、地域自主組織での配食及び安否確認を実施し、地域における見守り活動の推進を図った。 ・平成29年度より弁当代を全額利用者負担とすることとした。	利用者)1人の人が利用できる食数が増えて利用しやすくなった。食数が多くなり手作りが困難となったため、業者弁当が多く内容に不満の声もある。委託事業所)ボランティアや弁当業者の確保等、事業の運営が困難になってきている。

事務事業名	高齢者配食サービス事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	-------------	-----	-------	-----	----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由 治療食等、真に求められる食の提供に対応できていない。また、市場やボランティア団体、地域で食の提供をするところが出てきており調整が必要である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 高齢者の必要性に応じた配食がなされているか定期的に確認・見直しを行っていく必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
<input type="checkbox"/> 影響無	理由 事業を廃止することにより、栄養不良等で在宅生活の継続に困難や不安のある高齢者の増加が予想される。		
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名) 市場やボランティア団体、地域が行っている食の提供サービス	
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	理由 今後、調整が必要である。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 食事の内容や、配食の方法については委託事業所との協議等により地域資源を活用した方法への見直しが可能と思われる。	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 高齢者の方がこの事業を利用するにあたり、サービス利用に必要な方かサービス調整を目的とした会議で決定することは必要なことであり、併せて相談業務・訪問業務のための人件費なので必要。事業実施は、委託事業により行っているためこれ以上の人件費の削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 雲南市全域で行っている事業。またサービス調整を目的とした会議により必要な高齢者を対象に事業を行っており、公平・公正におこなっている。費用負担も見直しにより現在の負担額となっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 配食の方法、内容等については事業委託先との協議により検討が必要と思われる。また、市場やボランティア団体、地域との調整も必要と思われる。
	A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
D 公平性	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
配食の方法、内容等については委託先と協議しながら見直す必要がある。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		